



町工場勤務

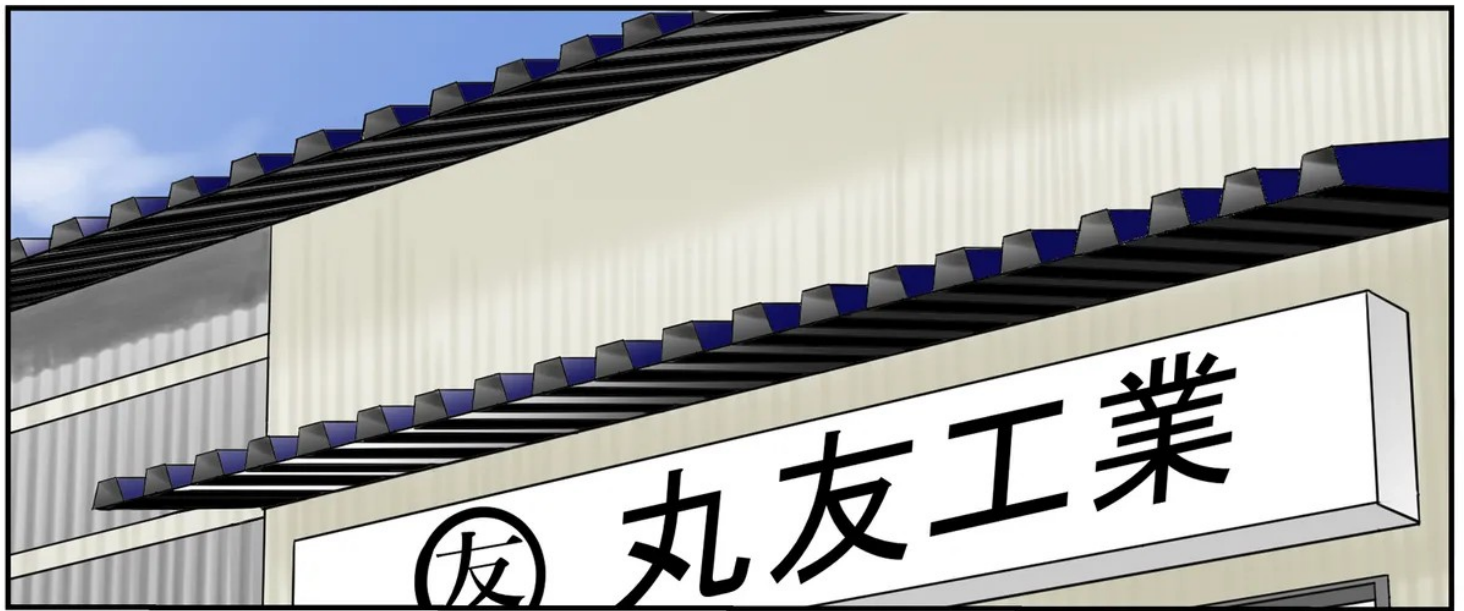
木村香澄

(31)

社長っそんなのズルいです。

業の丸

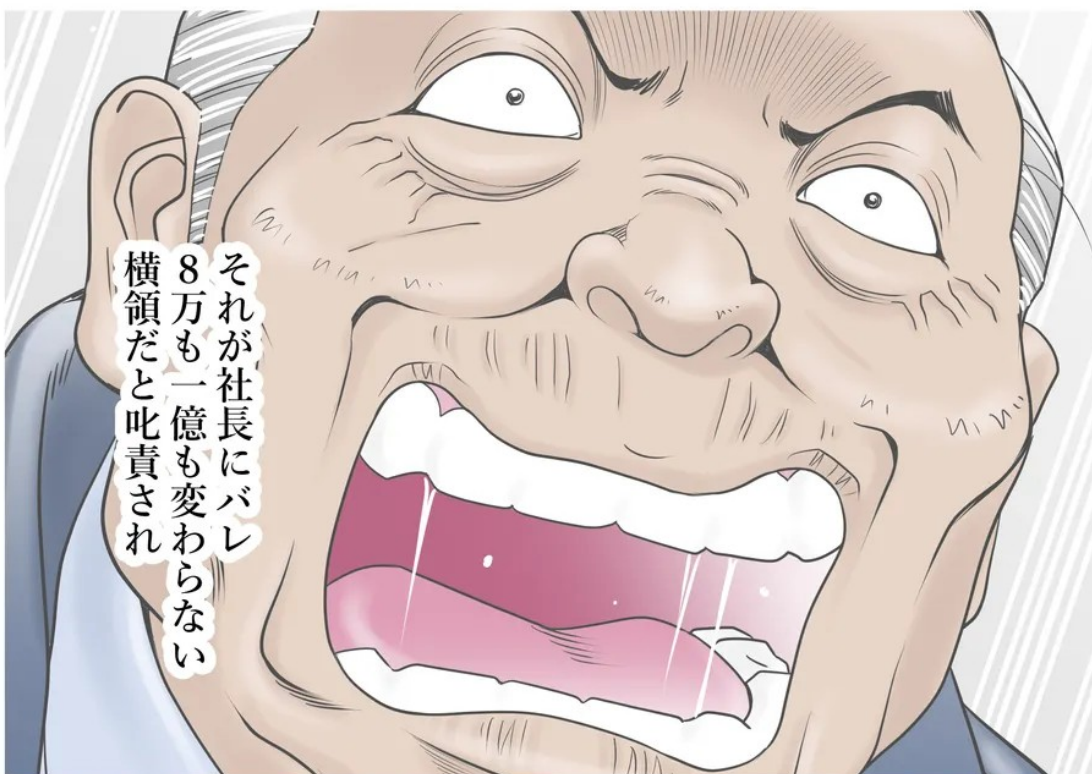
第一







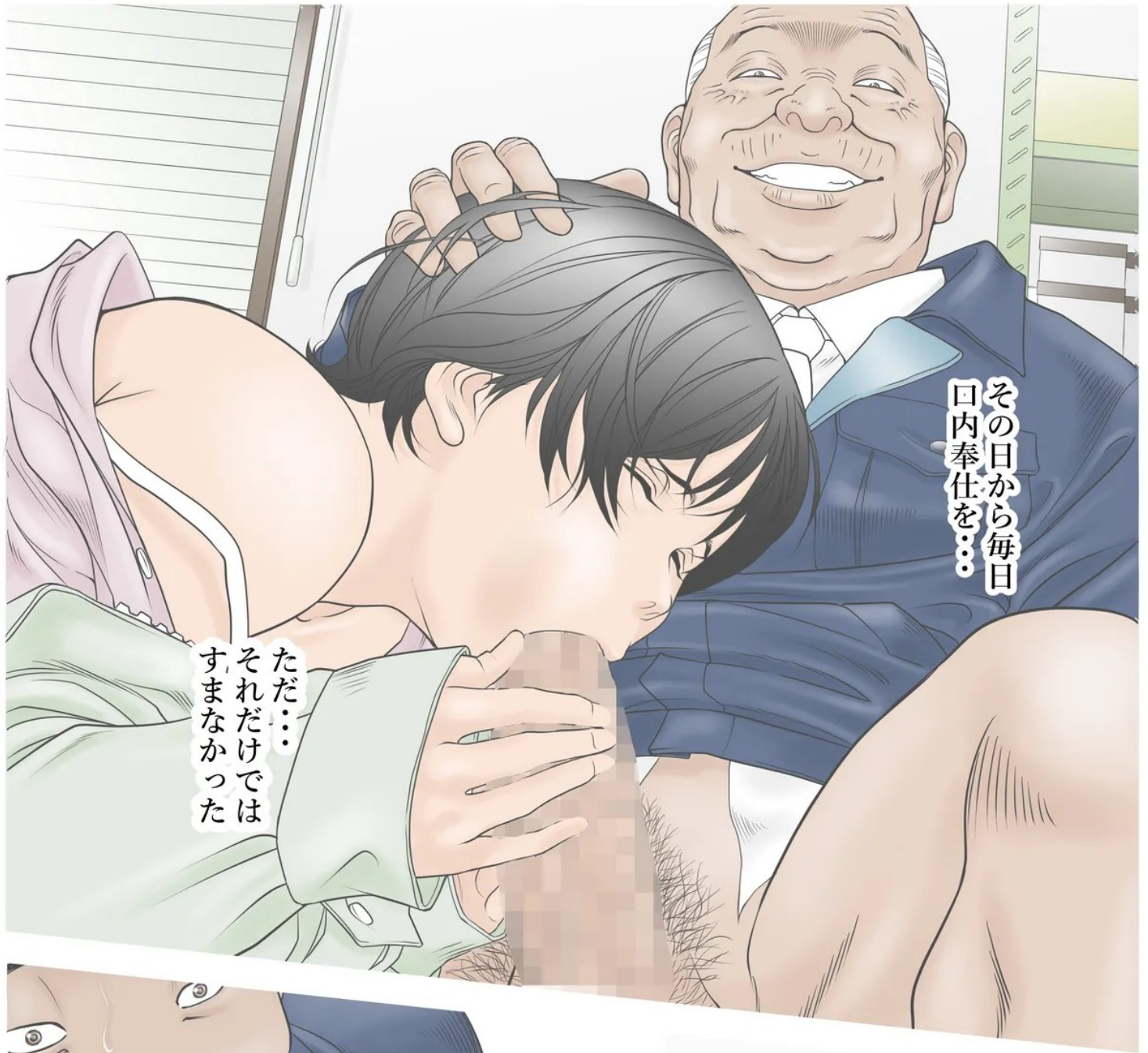
事の発端は
主人(自営)が怪我で入院
収入が途絶えてしまったこと



少ない貯金もすぐに消え
私はお給料で
補てんすればすむと
会社の積立金から
家賃分を...

それが社長にバレ
8万も一億も変わらない
横領だと叱責され

警察に突き出さない
条件として...



その日から毎日
口内奉仕を...

ただ...
それだけでは
すまなかった



私と社長の関係を知った
社員たちが...つぎつぎと...



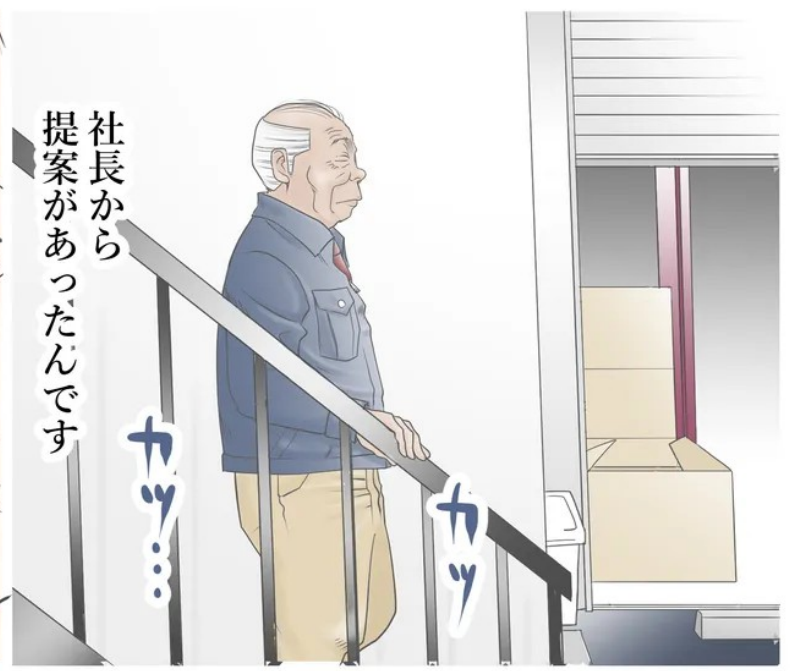


まるで社長を
見習ったかのように
わたしの口を…



融資が受けられないと
いう話が持ち上がった日

そんな日常が変わったのは
取引先の銀行から



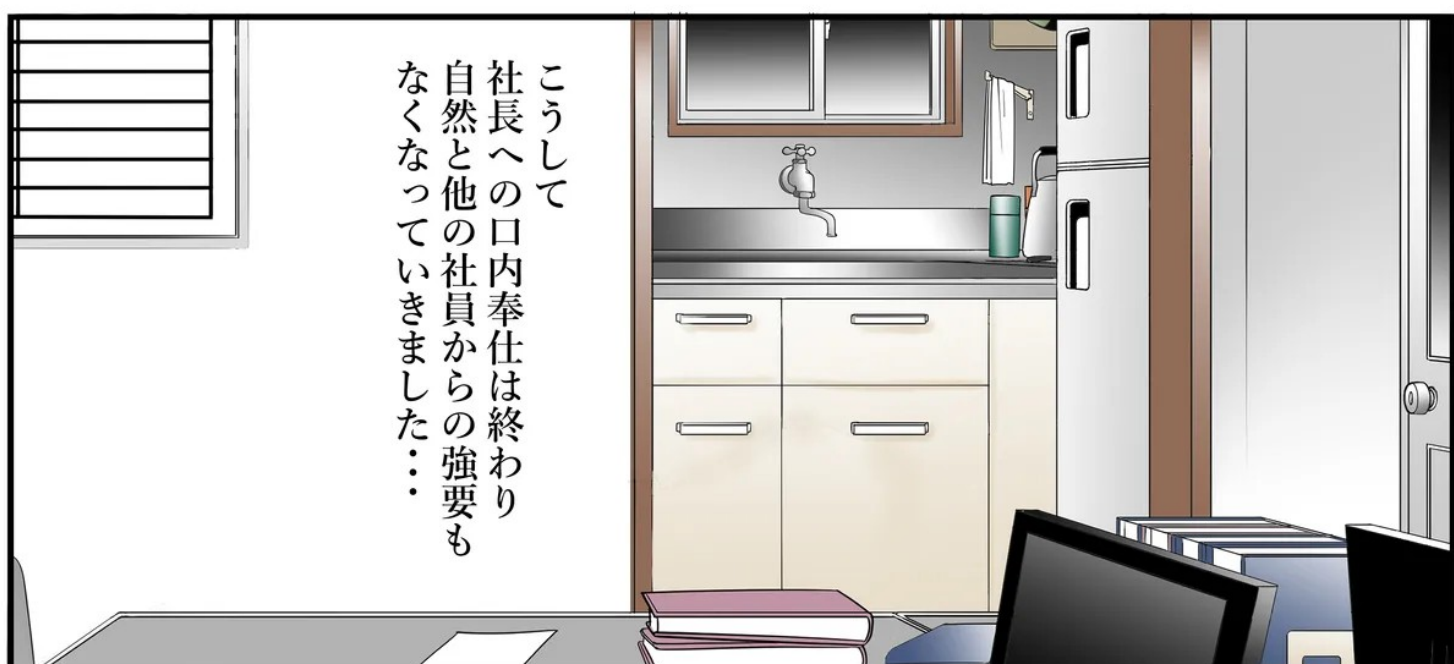
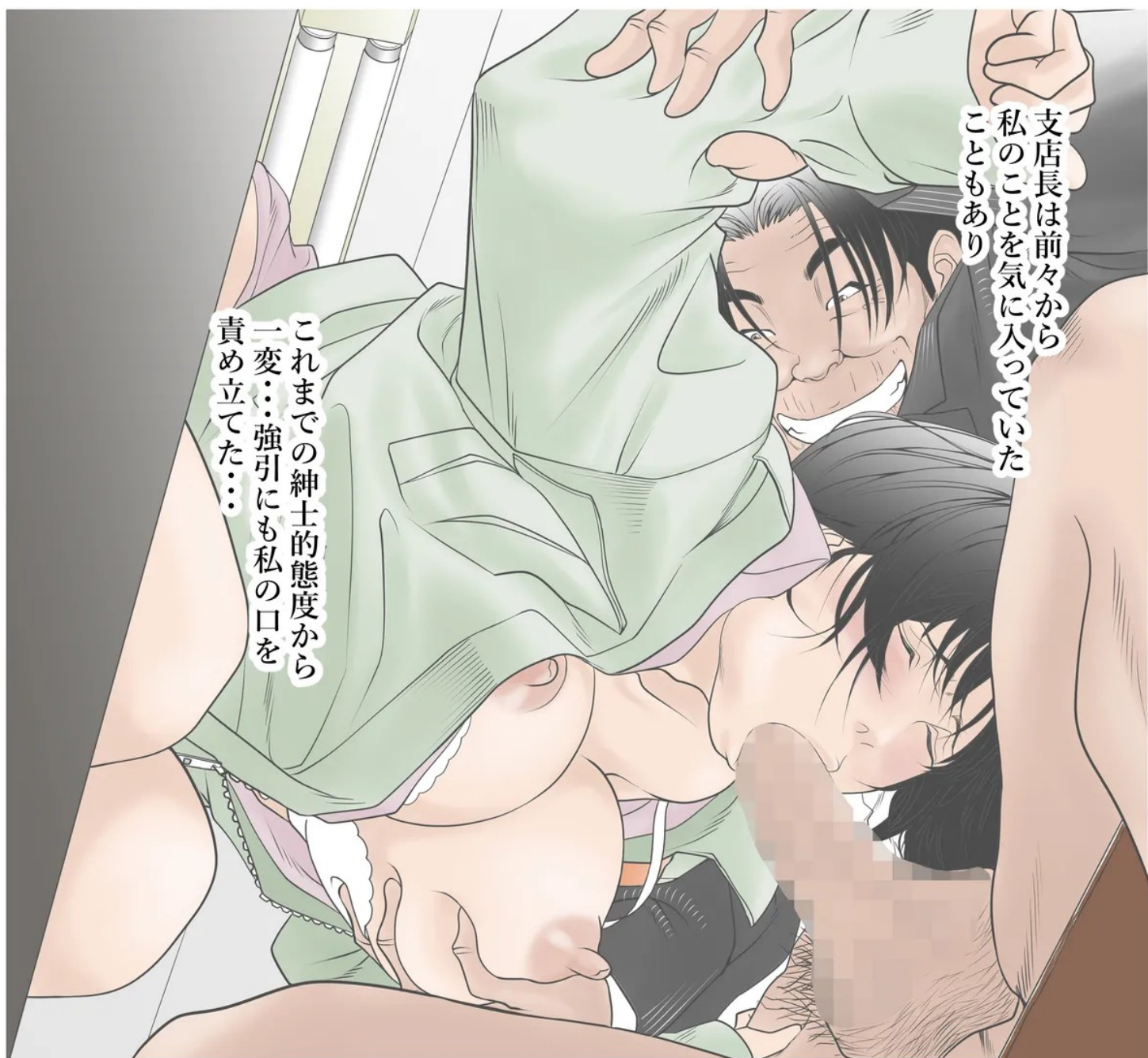
社長から
提案があつたんです

カッ...

カッ

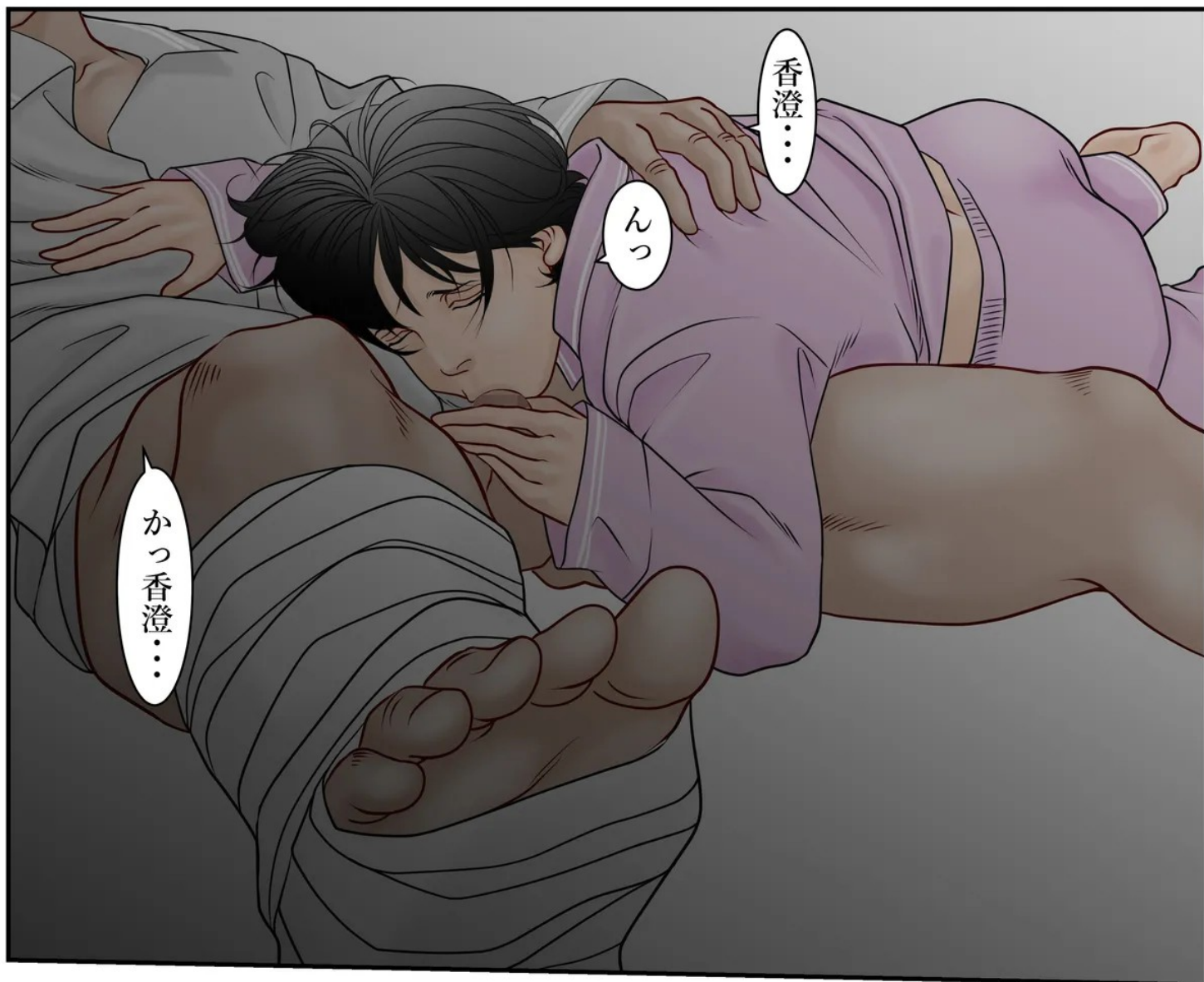
これで融資を
受けることができれば
横領の罪も口内奉仕からも
解放すると...

それは私が支店長さんへの
人身御供になる事

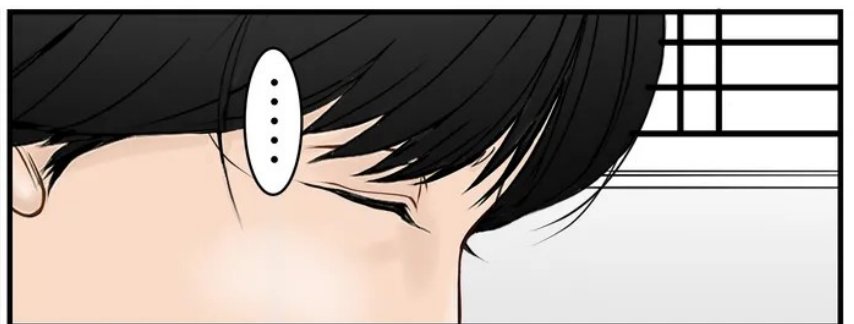
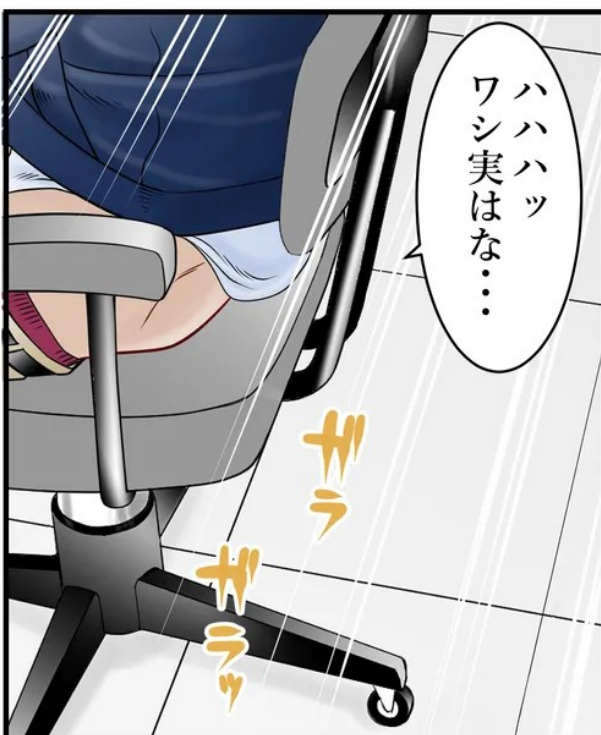
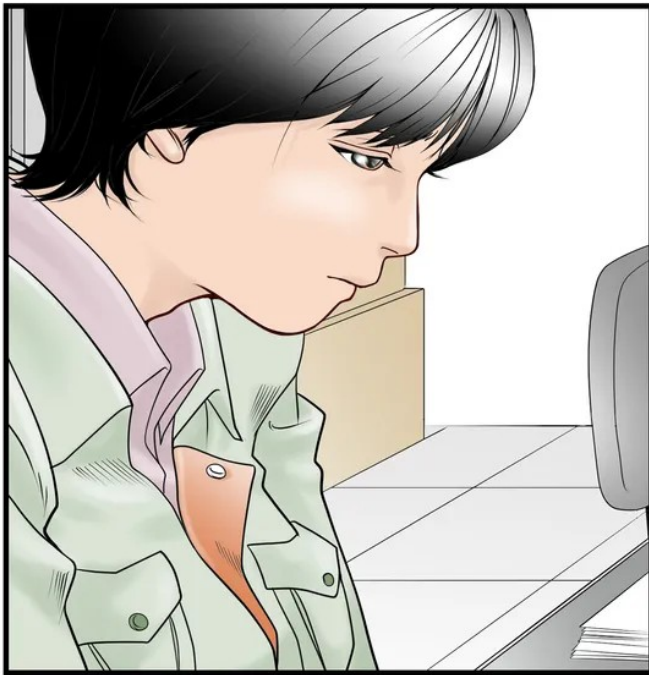


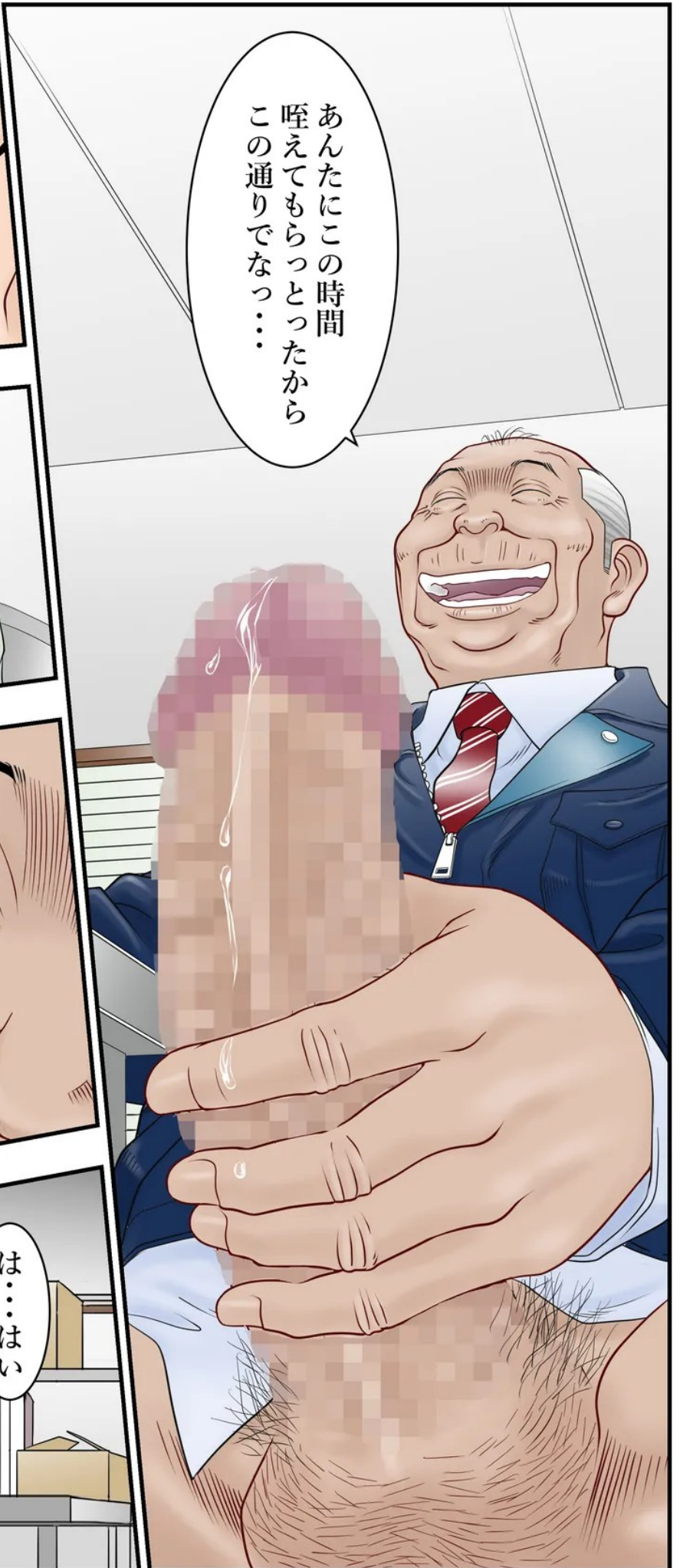
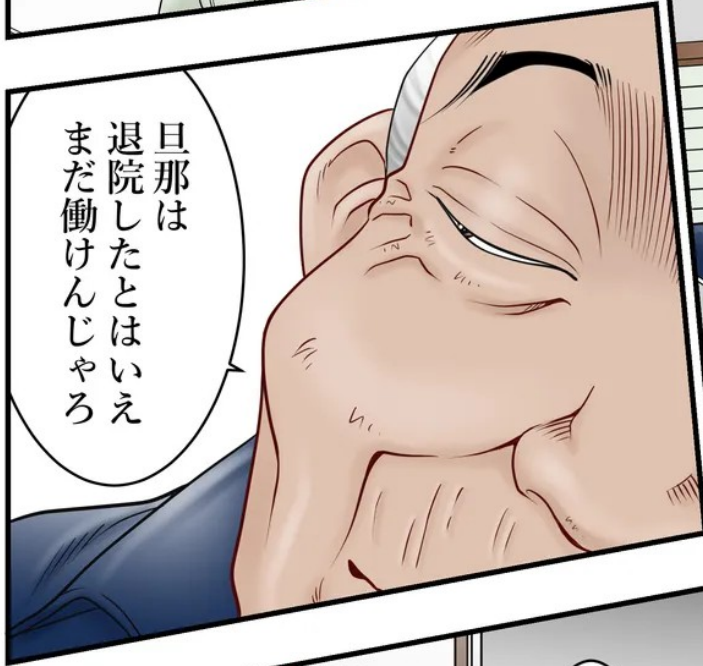


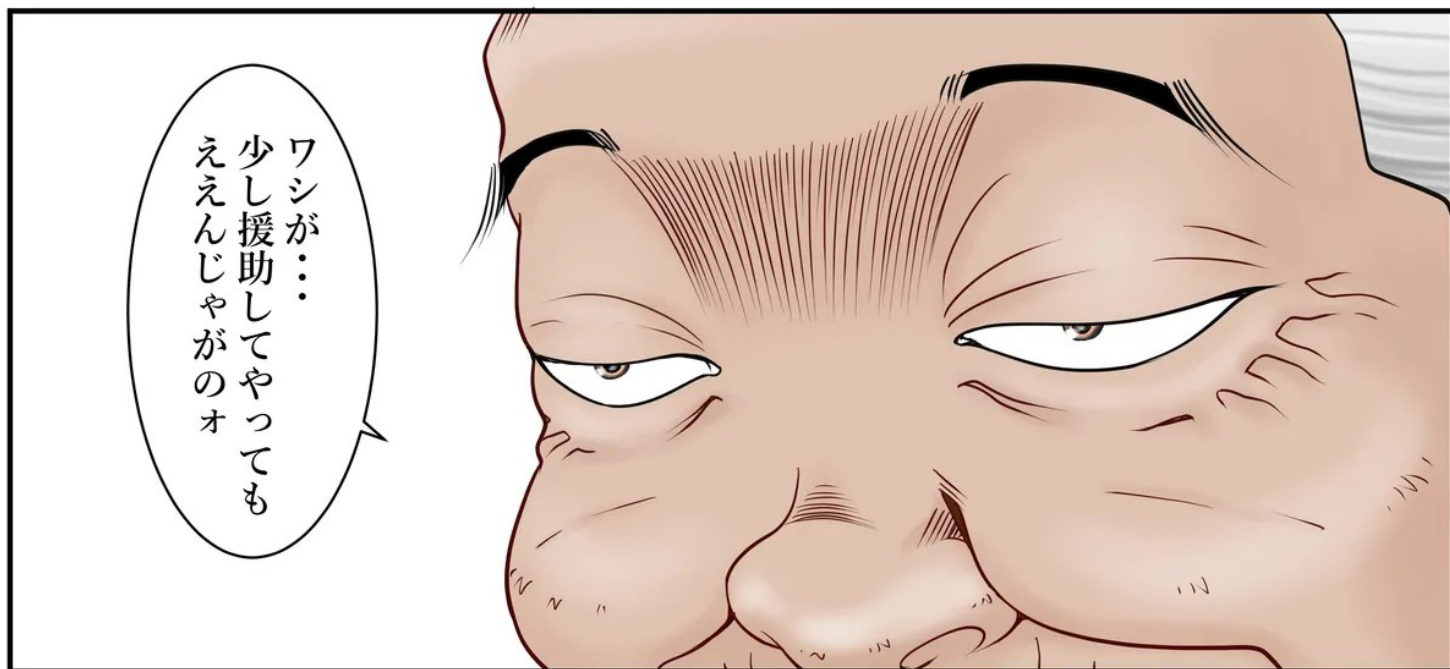
これまで
さんざん男性のモノを
啜えさせられてきた
私も女・・・
主人が帰ってきて
心も身体も高鳴らずには
いられなかった・・・



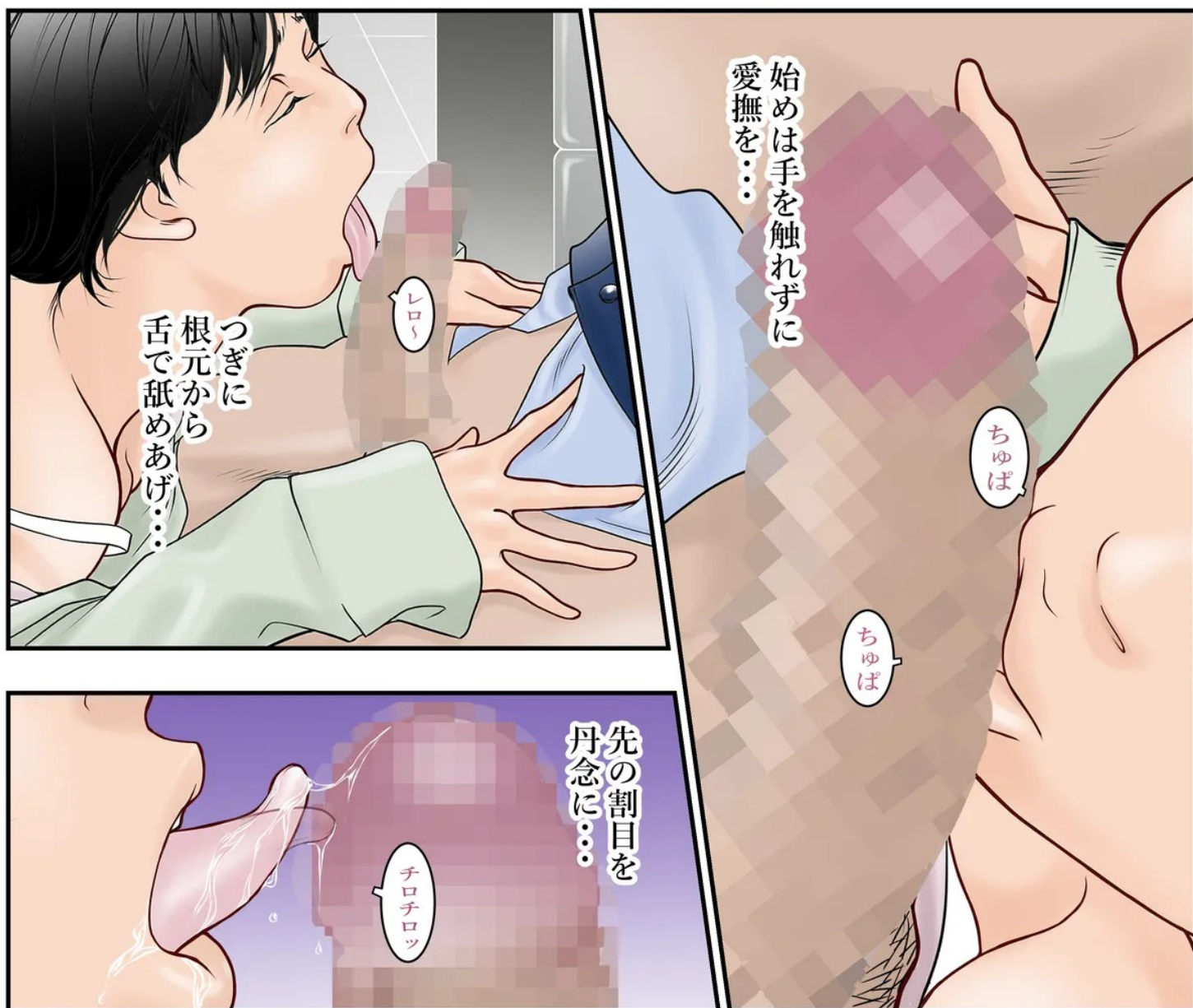
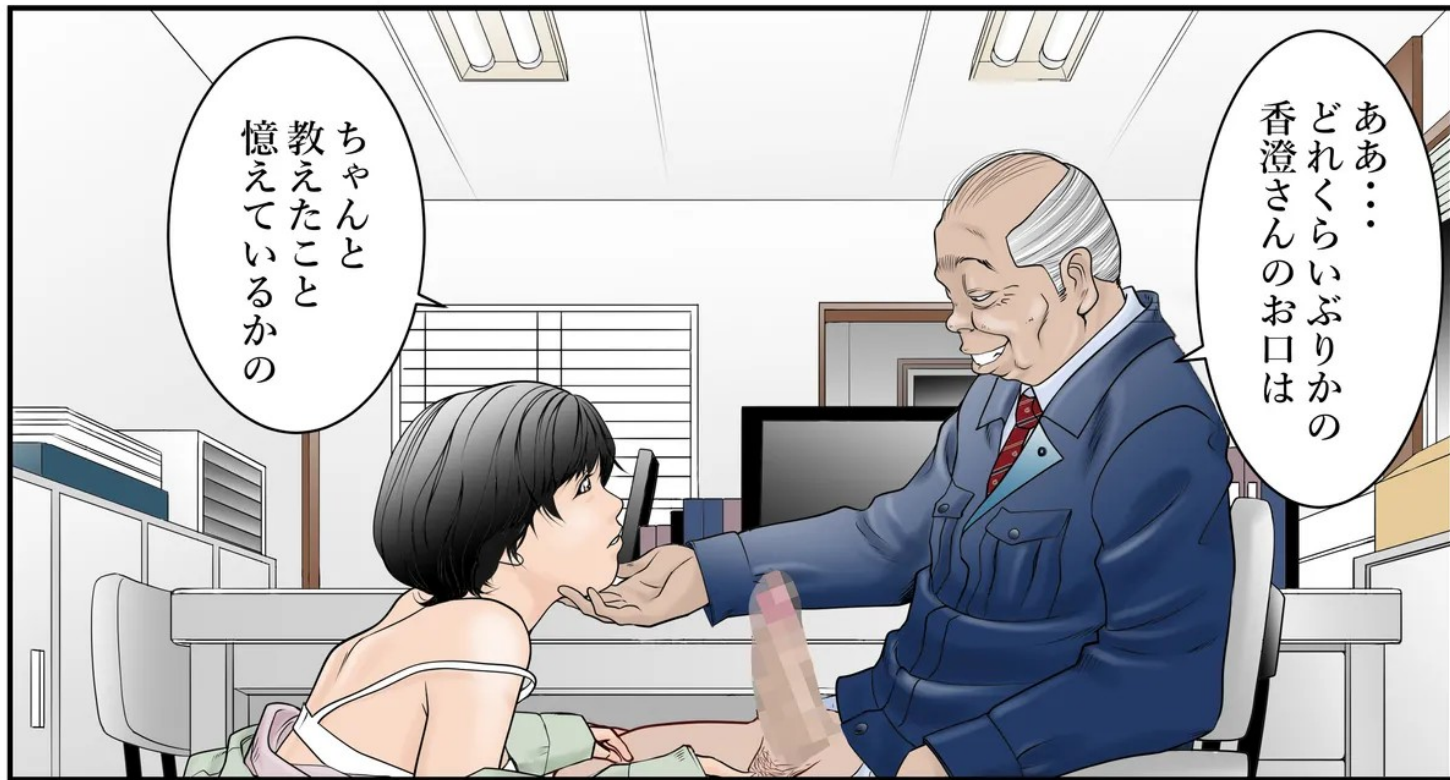


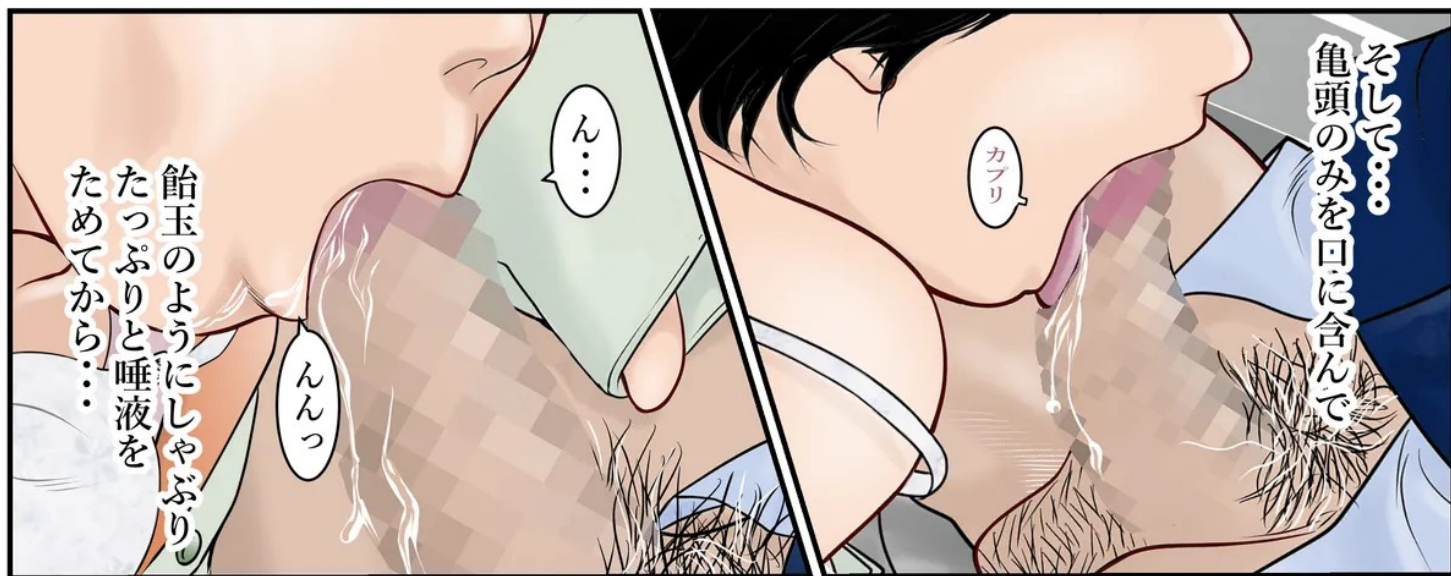


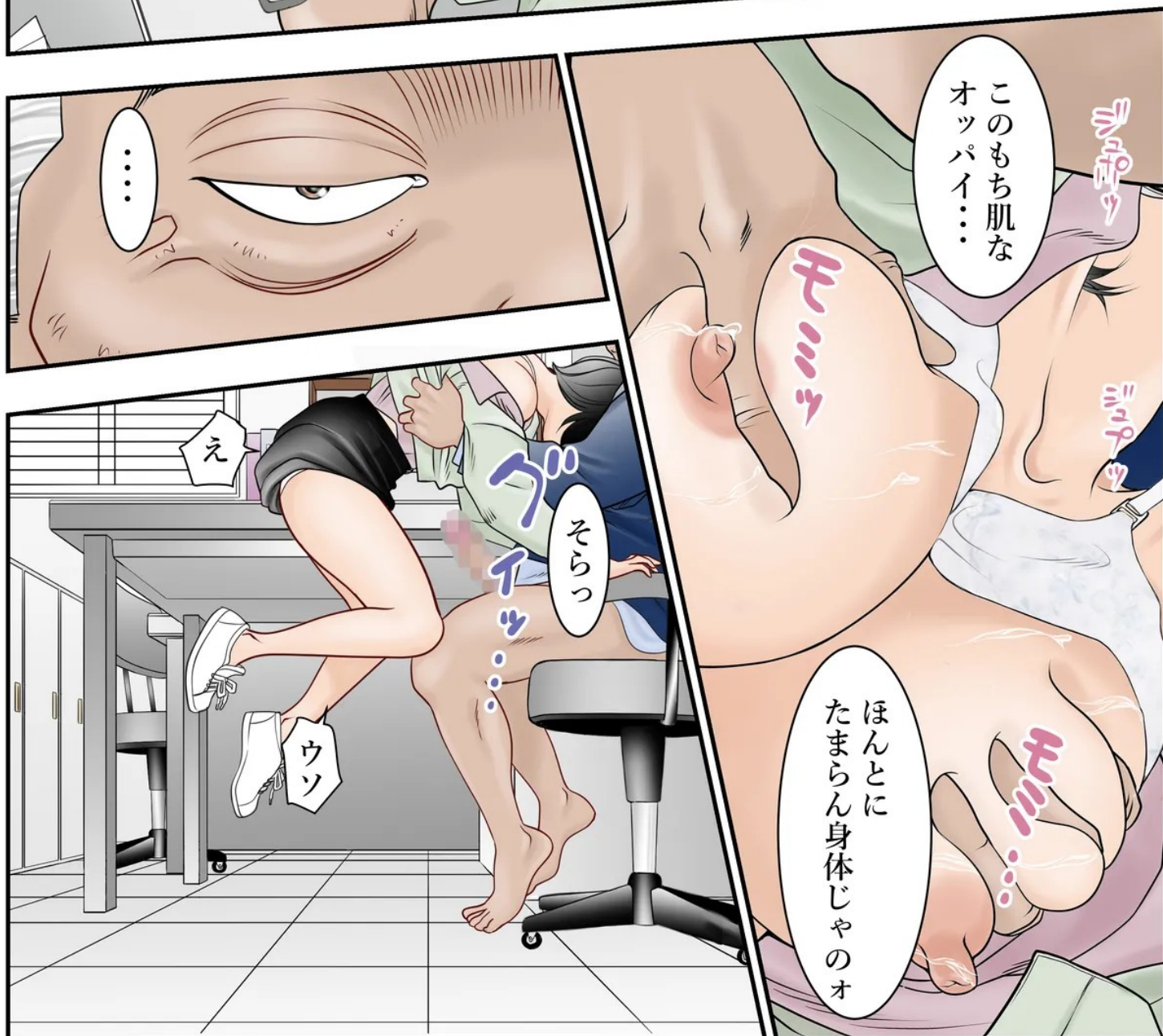


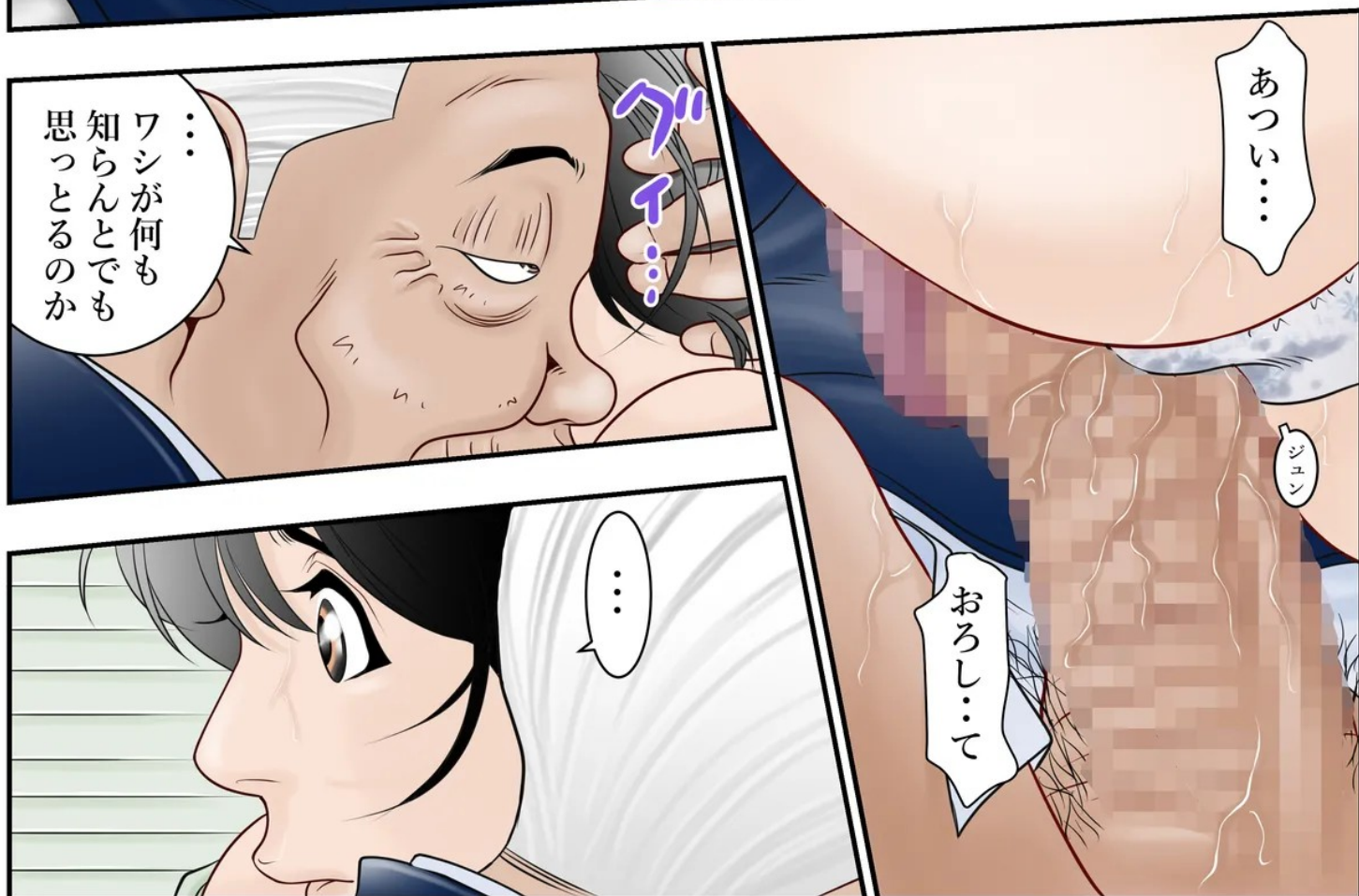
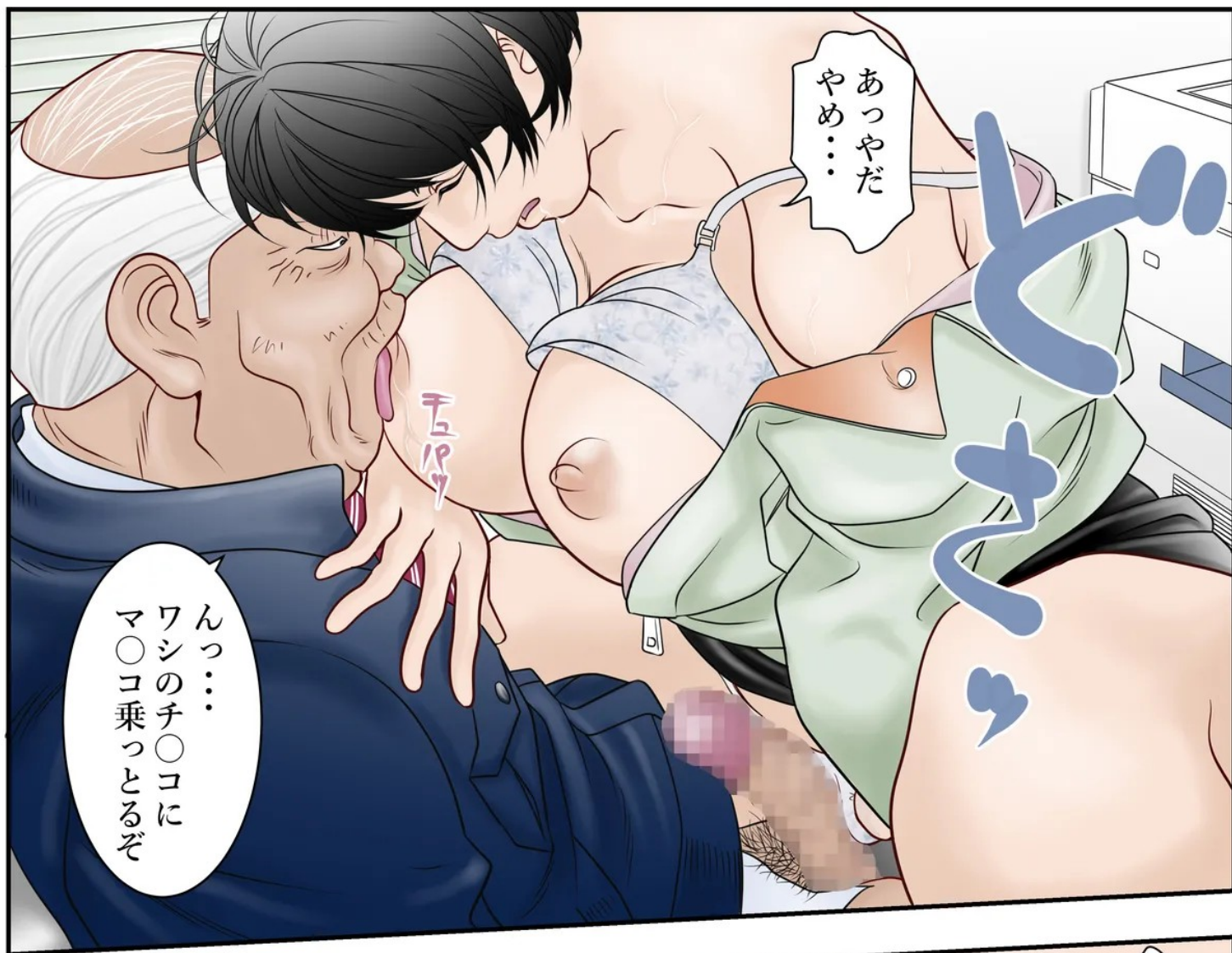


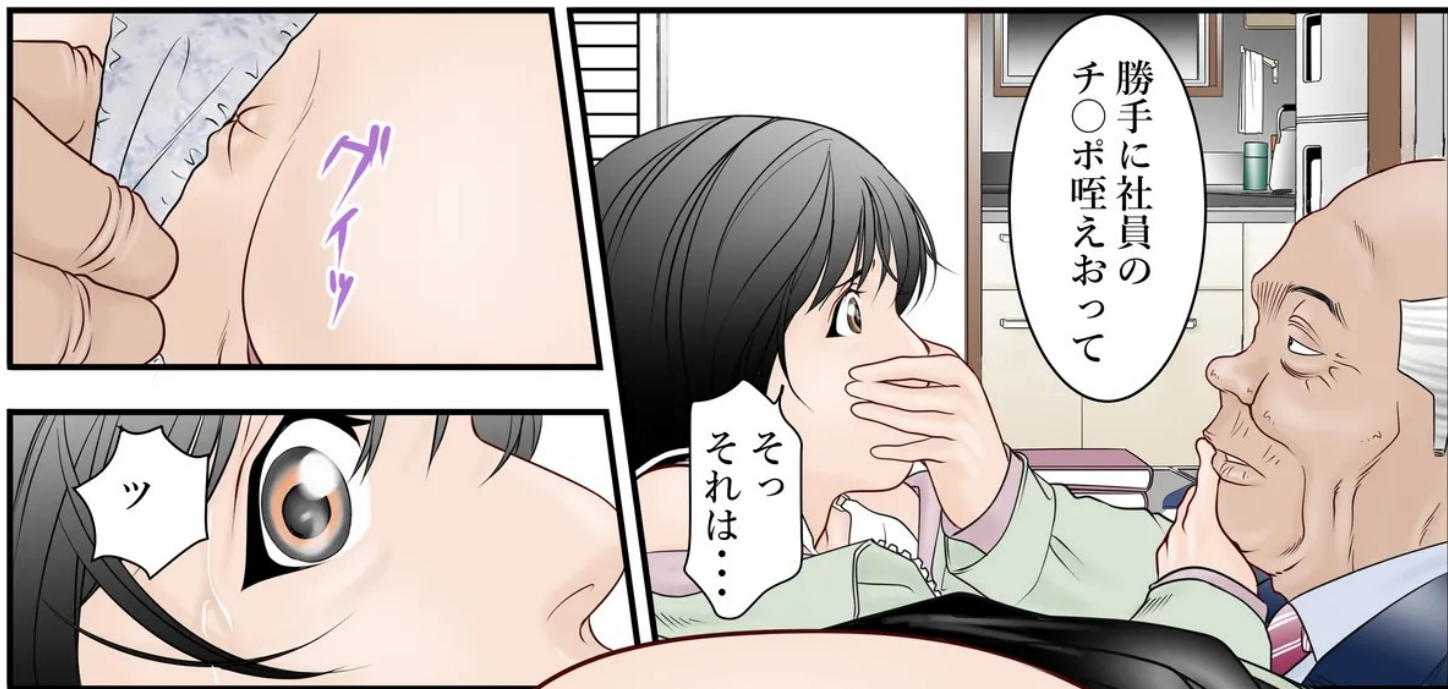




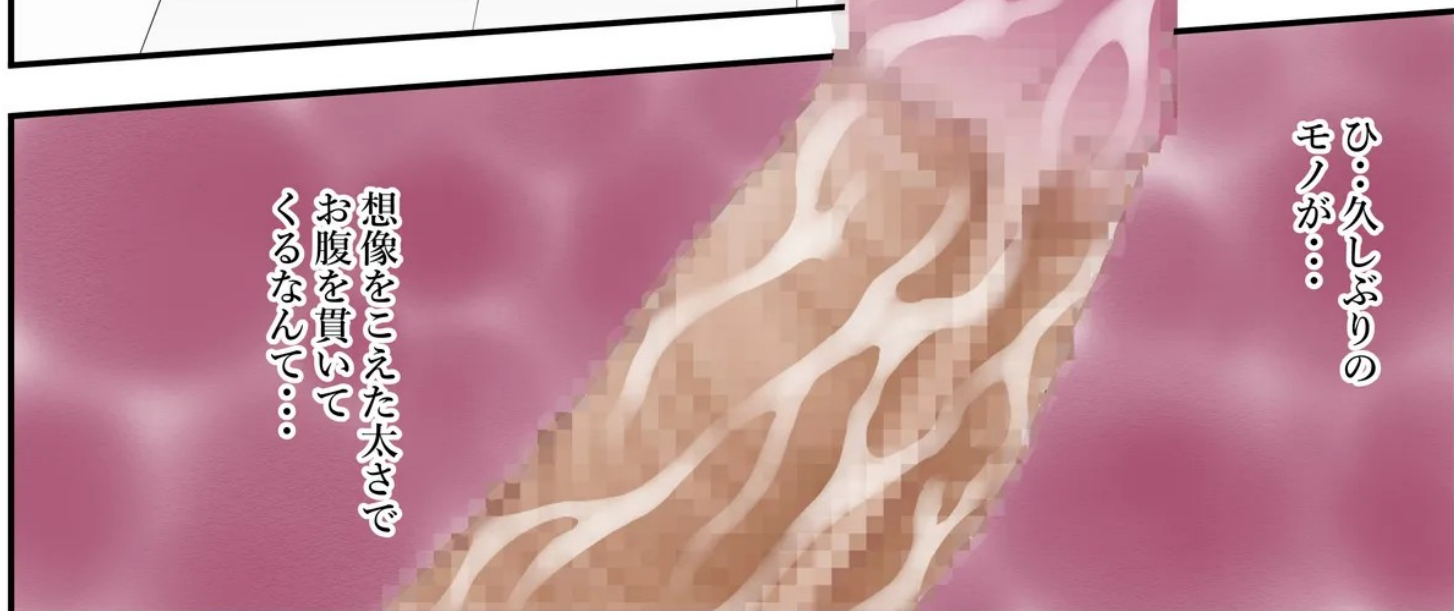


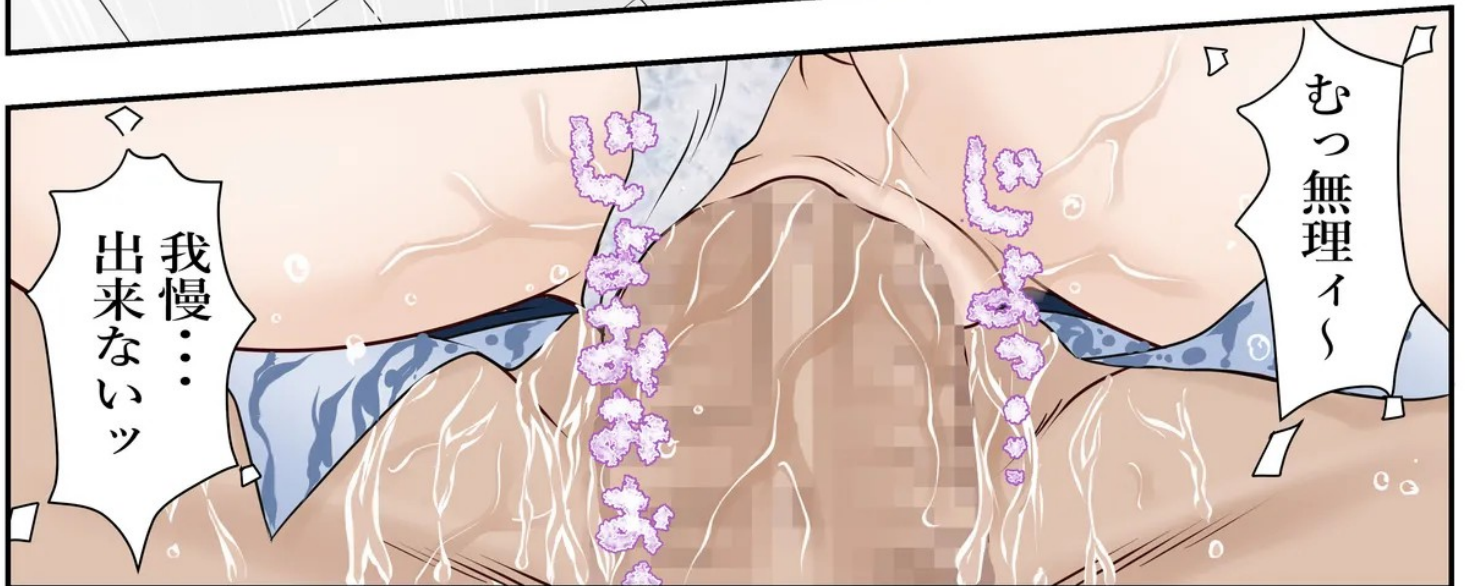
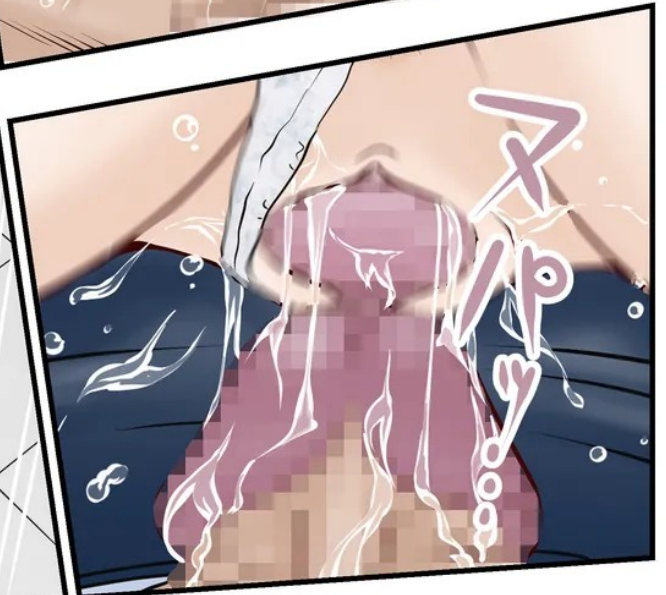
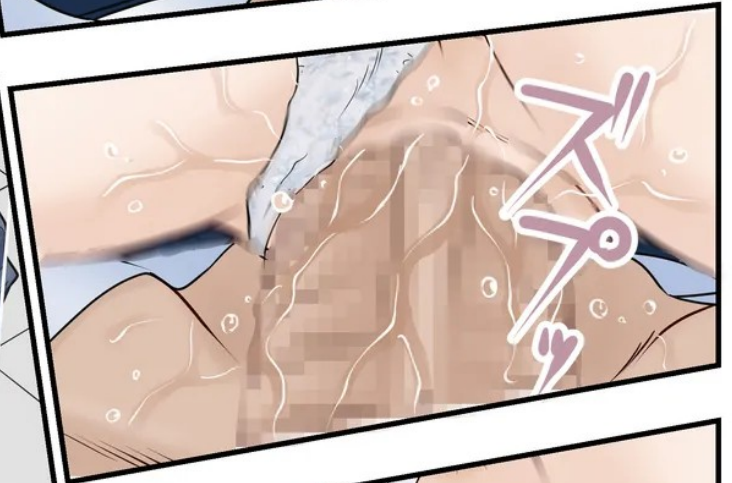
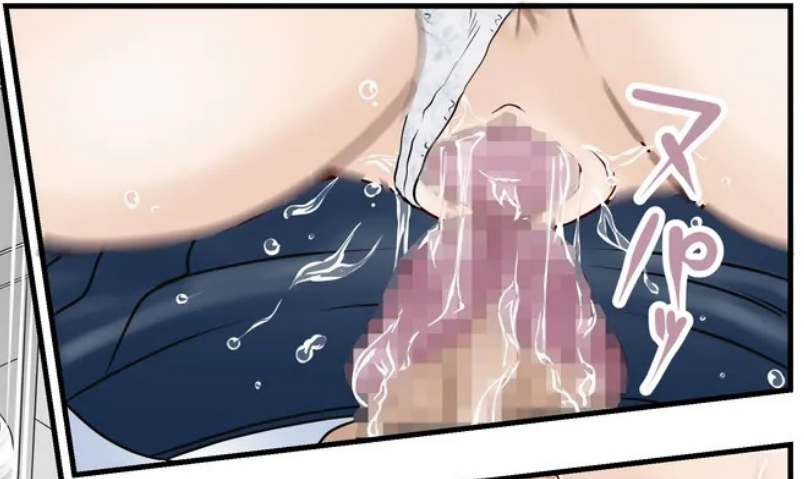
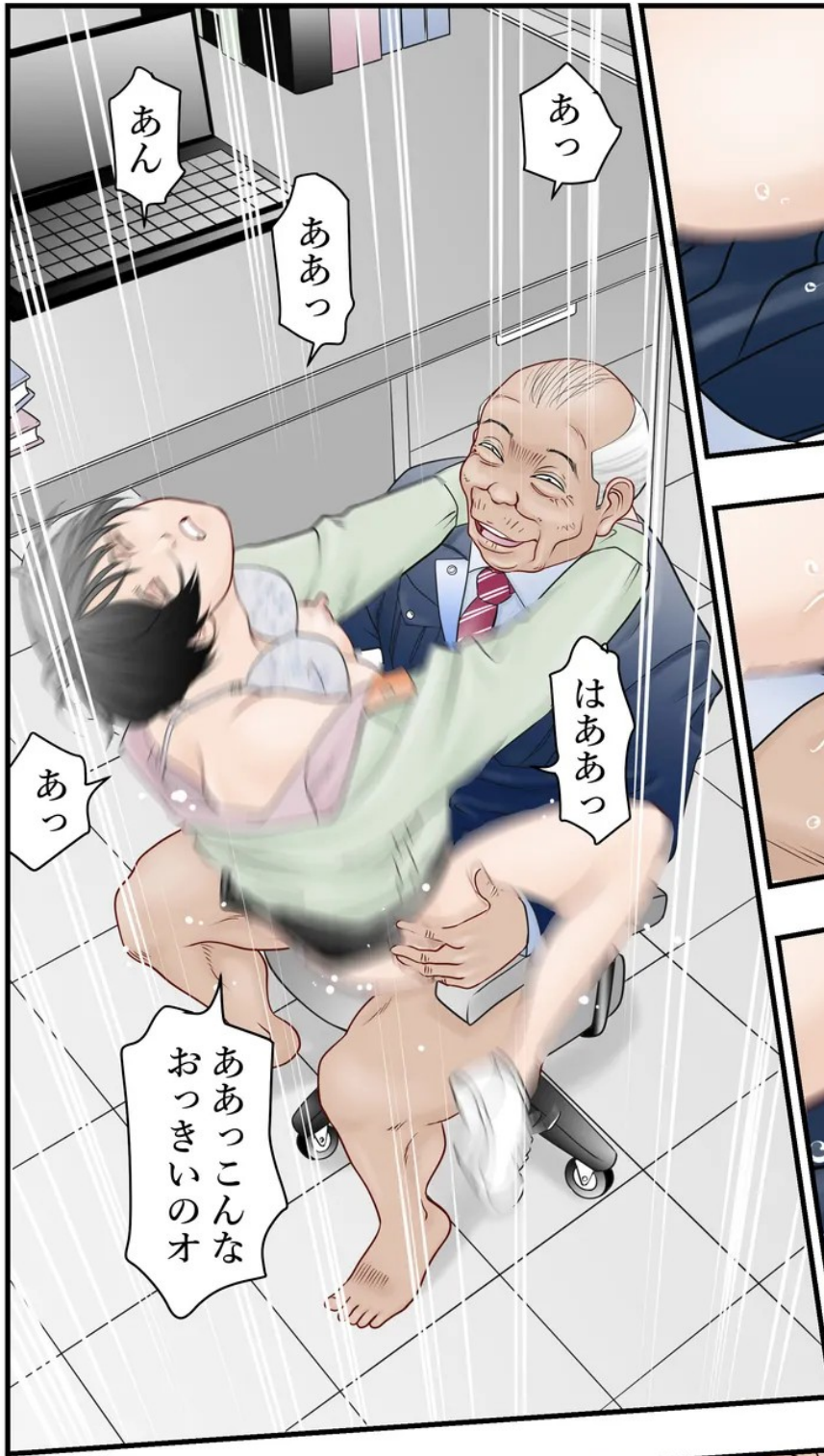


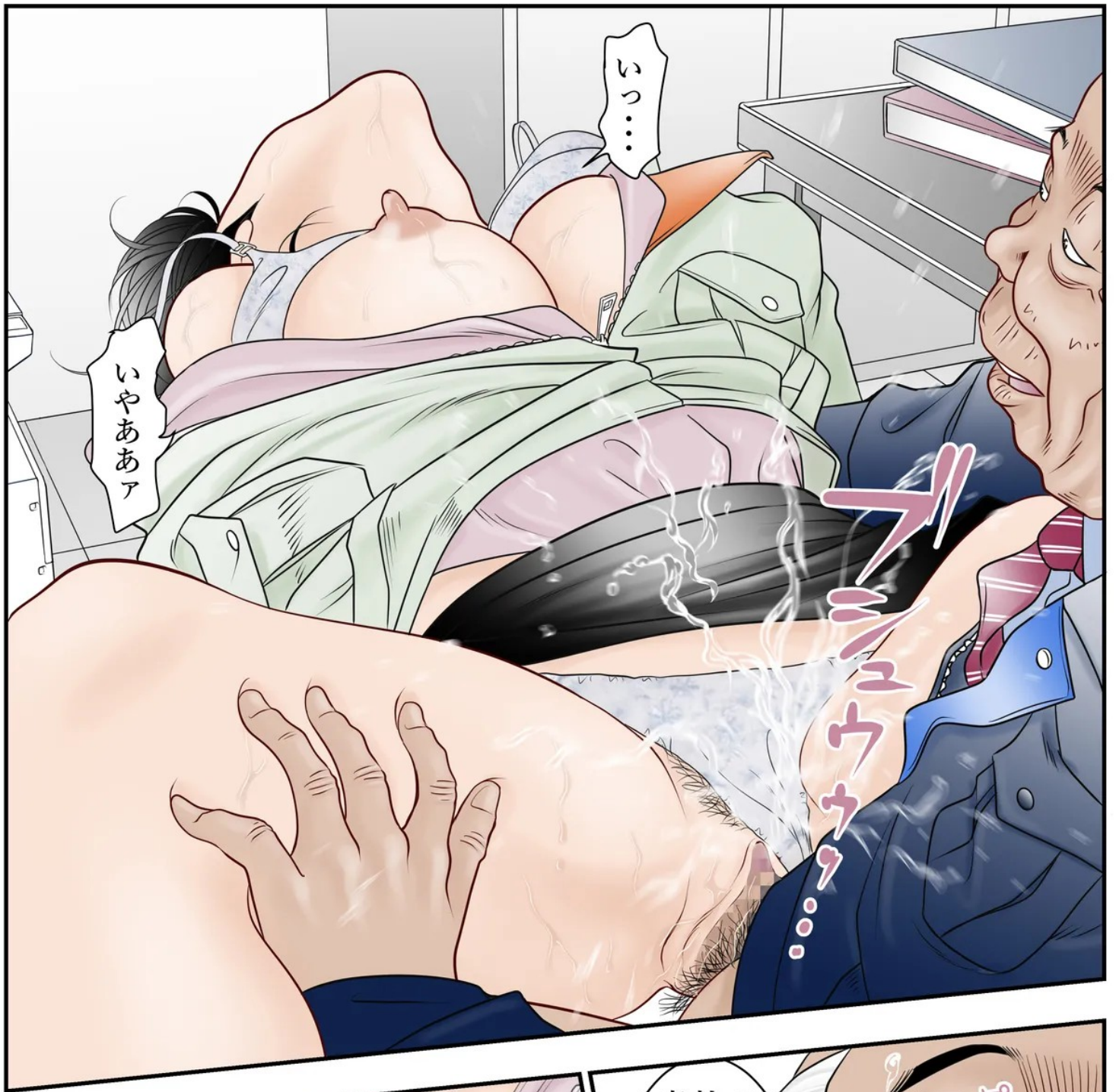


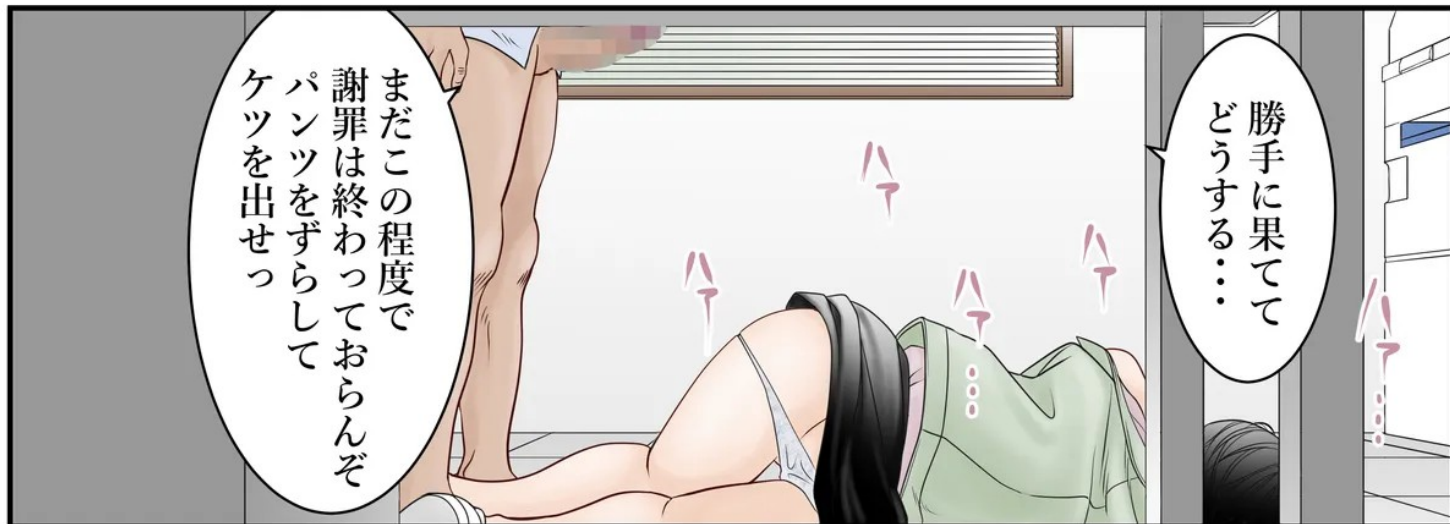


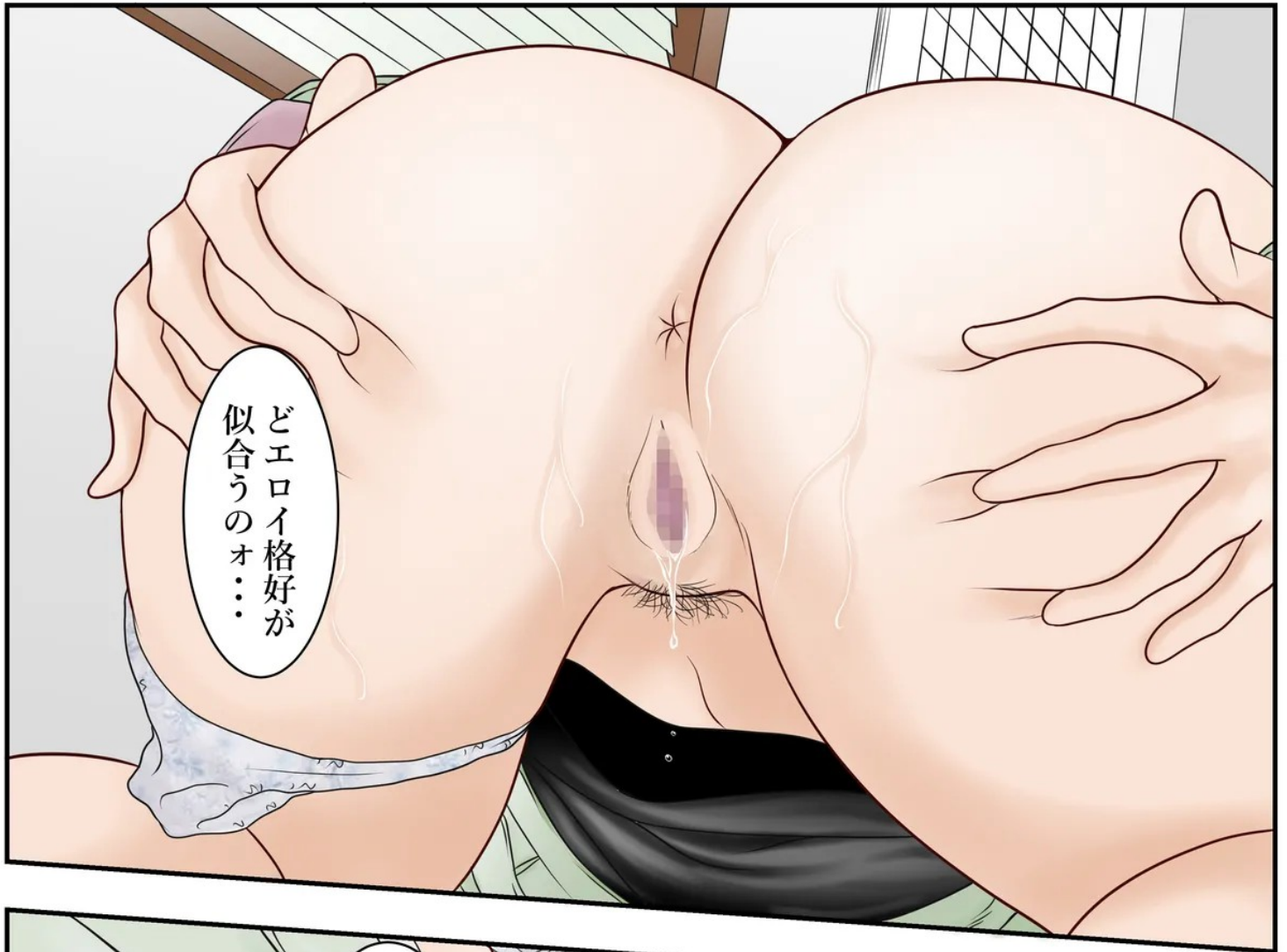


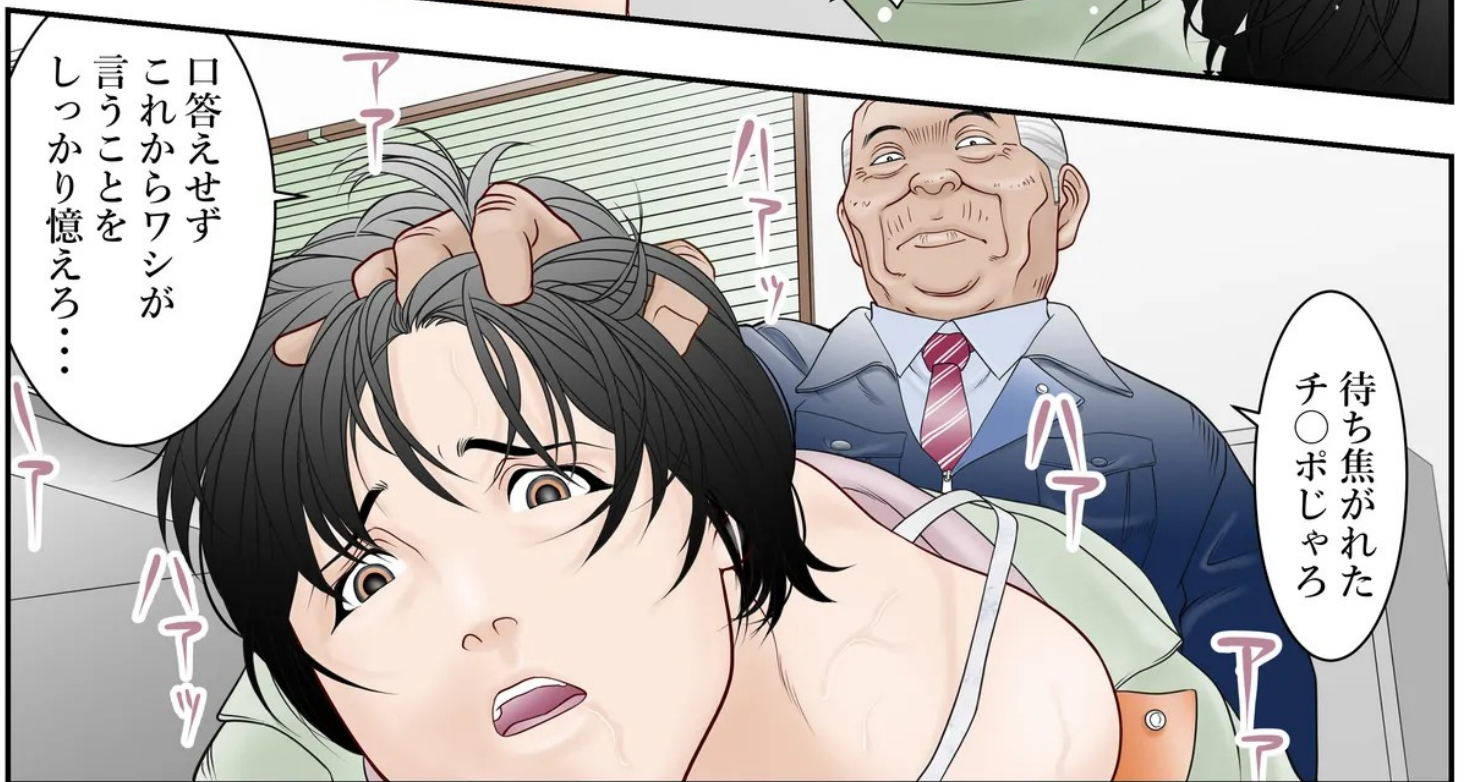
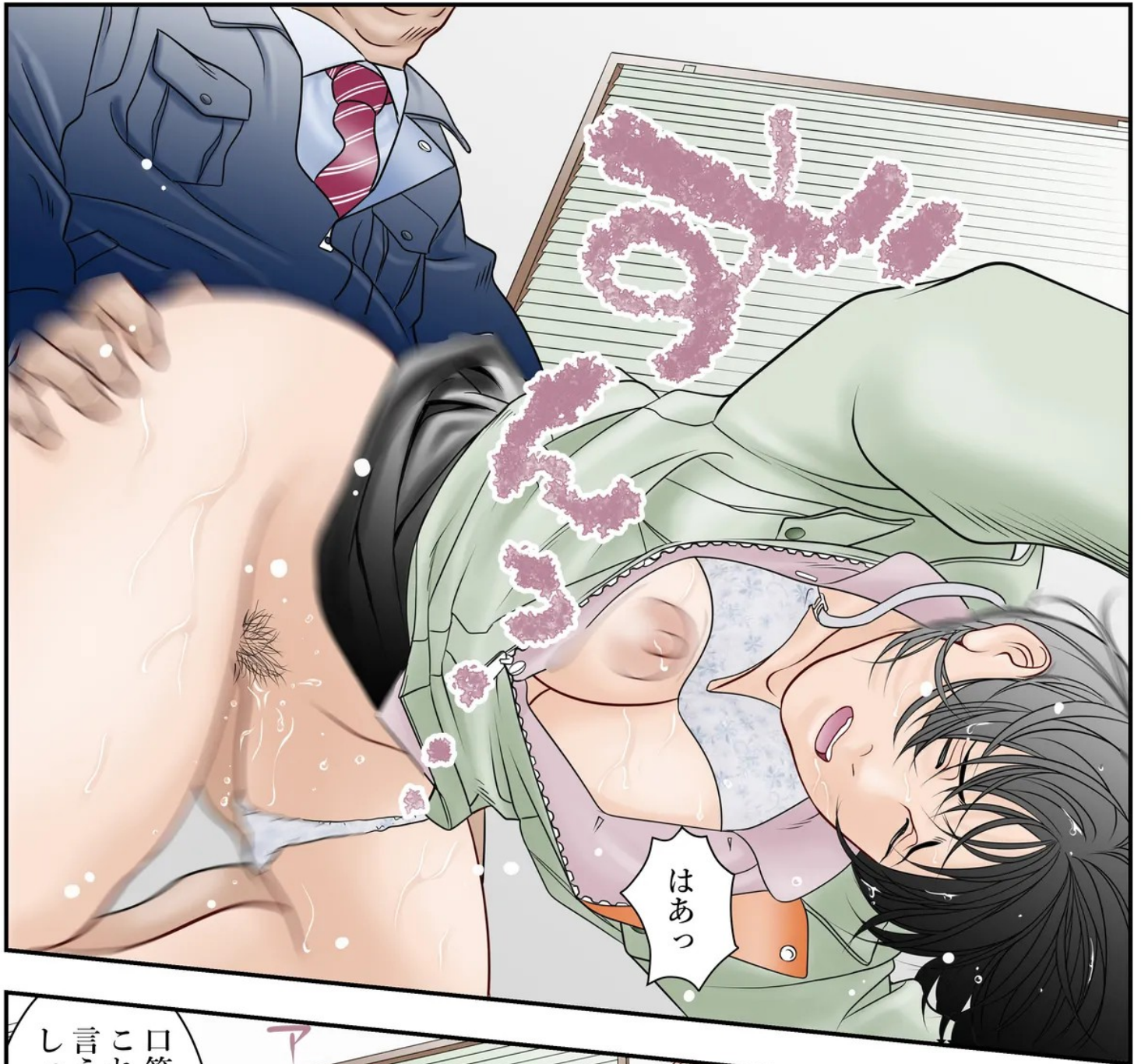


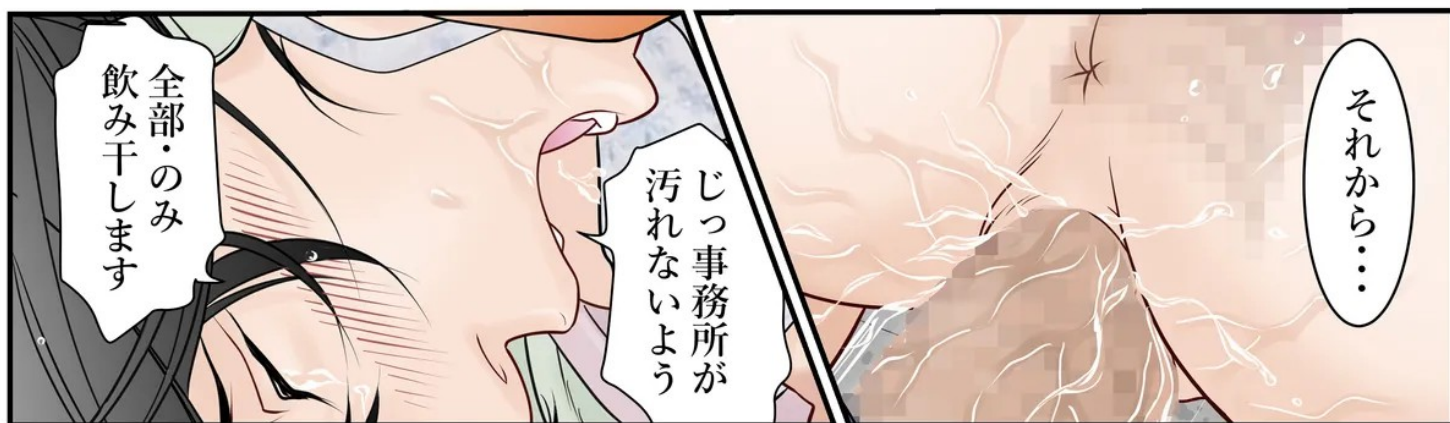
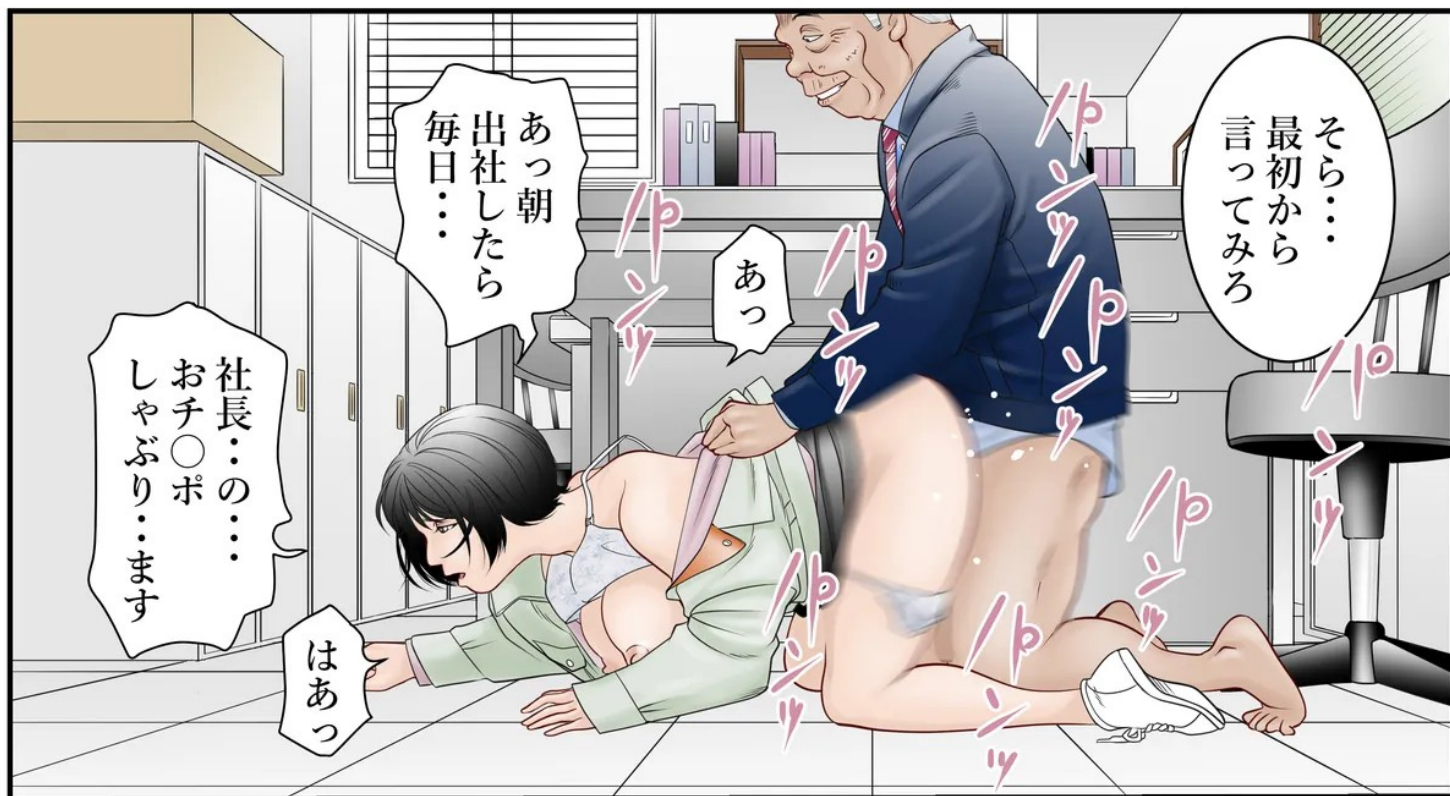


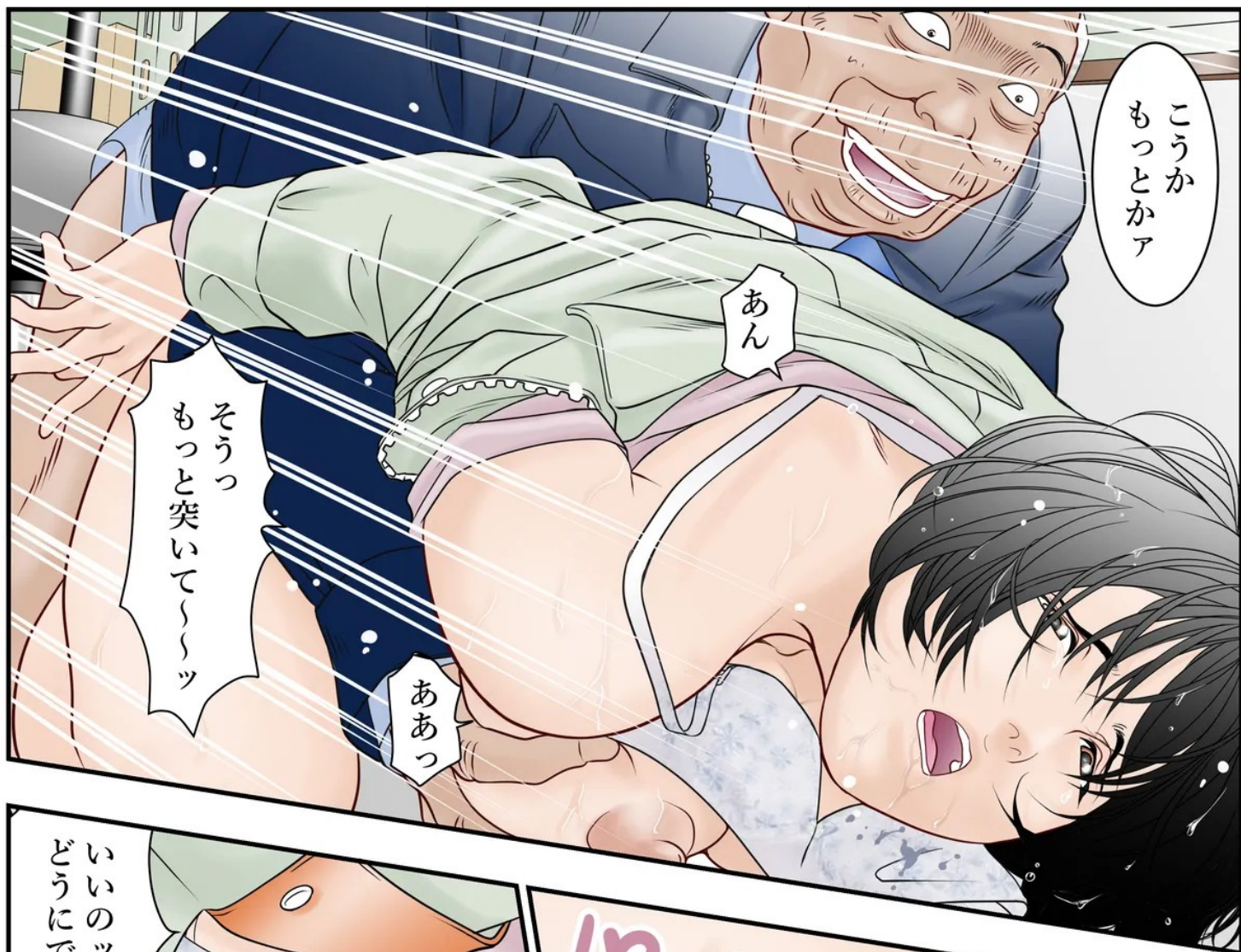










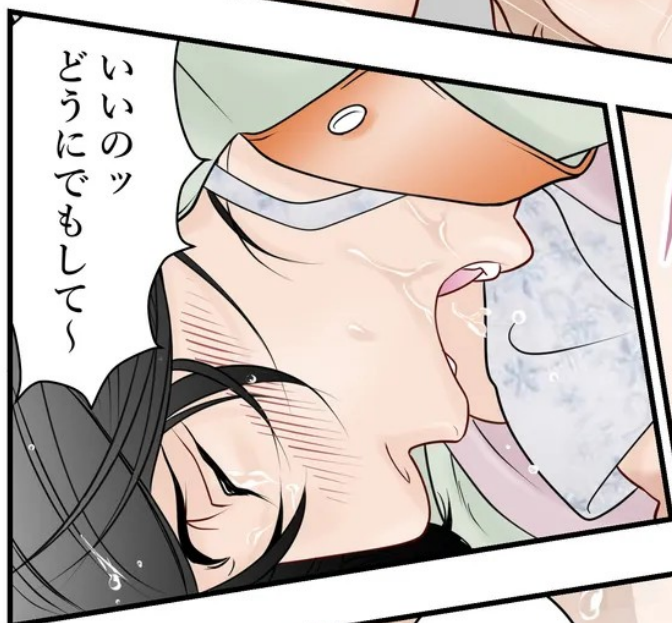


こうか
もったかア

あん

そうっ
もっと突いて〜ッ

ああッ



いいのッ
どうにでもして〜



おおっ
チ○コ膨れて
きたぞ香澄ッ
わかるか



いいのか
このまま出したら
孕んじゃうかもしれんぞ

